

京都建築映像祭 2022



12月18日（日） 16:20- 『コロッサル・ユース』（於：京都文化博物館フィルムシアター）

京都建築映像祭2021『ヴァンダの部屋』の上映につづき、小津安二郎や溝口健二、ジョン・フォードなど優れた映画作家たちを彷彿とさせ、独自の感覚で現代の映画を代表するポルトガルの映画作家ペドロ・コスタの作品『コロッサル・ユース』を上映します。

チケット購入 → <https://kaff2022-9.peatix.com/>

当日券：映画祭受付で販売

*割引の対象になる方は、必ず各種会員証・学生手帳をご持参ください。

英題：Colossal Youth 原題：Juventude em marcha

ポルトガル・フランス・スイス／2006年／ポルトガル語・クレオール語／カラー／35mm／155分

監督：ペドロ・コスタ

出演：ヴェントウーラ、ヴァンダ・ドウアルテ、ベアトリズ・ドウアルテ、イザベル・カルドーゾ



内容：

『ヴァンダの部屋』のスラム街は取り壊されて、ヴァンダは新しい集合住宅に移り住んで夫と子どもと暮す。リスボン郊外にあるフォンタイニャス地区に住むヴェントウーラは突然、妻に去られてしまう。彼は古い貧民窟と、新しく出来た住宅地を行き来しながら、自らが“子供たち”と信じる若者と対話を重ね、居場所を探っていく。

*映画全編を通し、建築や都市が触感を持った物質のような圧倒的な存在感でスクリーンに現れる。貧民窟の闇、新興住宅街の白さ、それらの廃墟や建物と人物が同質な存在として撮られ、物質感のある絵画のようなカットの連続によって構成されていく。スクリーンの中で都市が物質として立ち現れる by Kaff2022

京都建築映像祭2022概要

実施期間 | 2022年10月1日(土) - 12月18日(日) *各イベント日時は別ページにて参照 kaff.jp

会場 | 京都市内各所 [アンスティチュ・フランセ関西、京都国立近代美術館、京都文化博物館、第五長谷ビル]

主催 | 京都建築映像祭実行委員会 共催 | 京都府京都文化博物館、アンスティチュ・フランセ日本

後援 | 京都市、日本建築設計学会 特別協力 | 株式会社長谷ビル、株式会社サンエムカラー

協力 | 株式会社CAPA、大成建設株式会社、黒川紀章建築都市設計事務所、LAETOLI株式会社、TOKYO CULTUART by BEAMS、シネマトリックス

企画運営 | ヴェッター公園 (info@vutterkohen.com) 制作協力 | 株式会社 Echelle-1